

まちづくり協働推進計画 意見まとめ

令和7年度第2回まちづくり協働推進会議で、各グループのあげた重点課題の原文です。
カッコ内は補足説明です。

グループ1（石田委員、京谷委員、田部委員、藤井）

1. 人材バンクの創設

（市民活動の担い手の高齢化やフルタイムで働く現役世代の増加に伴い市民活動を担う人が減少している。登録された人材から団体が必要な時に支援を要請できる仕組みを創設する。）

2. かめおか市民活動推進センター、ふるさと亀岡まちづくり応援交付金広報
3. 学生ボランティアの募集

グループ2（阿久津委員、江見委員、田畑委員、則松委員）

1. STARを輩出する

（現在、亀岡のまちづくりを代表する人が青のたすきさんしかいない。共感大賞など、各団体の名前が出てくる機会を増やすことが必要では。）

2. 学生ボランティアの募集。自発的に。高校生にも。

（これまでワークショップなどに参加した学生のほとんどが先生の引率によるものであった。今後の市民活動につなげるために自主的に参加する学生を募集する。）

3. 全体の世界観での自分たちのポジションを

（かめおか市民活動推進センターの役割の明確化：亀岡市全体での市民活動団体支援を考えたときに、かめおか市民活動推進センターに求められる役割は何か明確にする）

グループ3（木久委員、谷口貢委員、長瀬委員、並河委員）

1. かめおか市民活動推進センターをもっと知らせる必要がある

2. かめおか市民活動推進センターの相談員の力量不足と思ったことがある

（相談員の対応スキル向上とともに、適切な組織、人につなげられるネットワークを構築する）

3. 1つ1つの資金が少ない（補助金）

（亀岡市支えあいまちづくり協働支援金の交付限度額拡充を検討。加えてNAWASHIRO基金や民間の補助金の活用を促進する。）